

岡山県笠岡市

医療法人 緑十字会

笠岡中央病院・老人保健施設くじば苑

【組織概要】

- 代表者 : 小野 泰生
- 所在地 : 岡山県笠岡市笠岡5102-14
- 活動開始年 : 平成27年



【取組内容】

- 医療法人緑十字会は昭和35年に設立。
- 笠岡中央病院を中核として、老人保健施設、訪問看護、通所介護等を運営し、地域に根付いた医療と福祉を提供。
- 管理栄養士が中心となって、給食委託事業者の日清医療食品(株)と協働で笠岡市及びその近隣市町で生産された旬の食材を活かした献立を平成27年1月から月に1回「地産地消御膳」として入院患者や施設利用者に提供する等地産地消活動を推進。
- 笠岡市、JA倉敷かさやとの連携により、地場食材を開拓し、地域の地産地消イベントにも積極的に参加している。

平成30年6月 地産地消御膳
祭り寿司、キャベツのごま和え、
なす田楽、美人うどんのお吸い物、桑茶
(地場食材使用率 94%)

管理栄養士による生産者訪問



桑の実収穫体験(白石島)

・生産者と交流を重ねることで、地場食材の生育状況の情報交換が可能となり、食材の特徴を活かした献立作成を実施。また、規格外の食材(ソーセージの切り落とし、野菜)の情報が明らかとなり、給食の材料として活用することで、生産者の所得向上にも貢献。

給食への関心の高まり



生産者・協力者との交流会

・地場食材の使用をアピールするお品書きや掲示物を見て、また生産者との交流会を通して、喫食者から購入方法について問い合わせが増えており、地場食材を使用した給食が地域住民による地産地消に繋がっている。

地産地消活動の情報発信



大空と大地のカーニバルへ参加

・給食体験会や地産地消祭りを企画したり、市内のマルシェへ出店し(地産地消豚汁の販売)地域住民へ地産地消給食のメリットや地場食材の魅力をアピール。
・地産地消活動についてブログや学会発表で広く情報を発信している。